



石森 晃寿 議員

- 1、応急仮設住宅等入居者の現状と再建について
- 2、友好都市・友好姉妹都市の交流について

東日本大震災から6年6カ月が経過し、移転先団地の整備が進み、住宅再建、災害公営住宅の整備に伴う入居により応急仮設住宅等の入居率が10%を下回っていると思われるが、入居者の安全を確保するために、市として

入居者の今後の再建先

Q 仮設住宅等入居者の現状と再建

A 居住者の意向を反映して再建

災害救助法に基づき、応急仮設住宅等を供与しているが、

どのように対応するか。

お一人お一人に寄り添った、スムーズな生活再建ができるように、各種支援制度で支援する。



▲平成31年度までに被災者の再建にあわせて解体



▲北赤井市道相野佐野53号線(幅4m)



五ノ井惣一郎 議員

- 1、北赤井地区の市道拡幅整備を図れ

Q 北赤井地区の市道拡幅整備を図れ

A 本路線は重要路線、整備を図る

県道石巻鹿島台大衡線の北側に並行した袋堀・下区・相野佐野53号線は、石巻市須江の産業用地に続く市道である。県道石巻鹿島台大衡線は、車両の通行量が増加、歩道があるものの赤井小の通学道路であり、特に震災後危険な県道だ。

赤井北側の市道は、狭

隘で車・農機の通行のすれ違いには危険を要する。赤井北地区の深谷地区のほ場整備の採択要望中だ。それに合わせ狭い市道の拡幅整備を図れ。

市長 本路線は、重要な路線であり赤井地区の生産地団地を東西に横断する路線であり、現在、広域営農団地農道整備による整備を県

に要望している。質問の路線は防災・産業分野でも重要な路線である。老朽化した高田橋・六檜橋の改修も必要だ。この拡幅整備には多額の財源が必要だが、市の事業として、交通省所管の社会資本整備総合交付金等も活用し、完成を目指すしたい。